

Bluetoothハンズフリーカーキット



- 最初にご確認ください
- 本体 1台
 - クリップ 1個
 - 充電用USBケーブル 1本
 - 取扱説明書(本書) 1部
 - 保証書(パッケージに添付) 1枚

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- はじめに
- 仕様
- セット内容
- 各部の名称と働き
- 本製品の充電
- 取付け方法
- 電源のON・OFF
- ペアリング
- 使用方法
- LED表示について
- よくある質問
- 使用上のご注意
- 安全にご使用いただくために
- ご注意
- 保証規定

1.はじめに

この度はBluetoothハンズフリーカーキット(MM-BTCAR1)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は運転者の乗車を自動感知する人感知センサーを内蔵し、便利性を考慮して設計されたBluetoothハンズフリーカーキットです。ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧ください。読み終わったあとこの取扱説明書は大切に保管してください。

- 注意** 運転中の携帯電話の使用は事故の恐れがあります。
- ・運転中の携帯電話の使用はご遠慮ください。
 - ・運転中の携帯電話の使用に関する関連法規をお守りください。

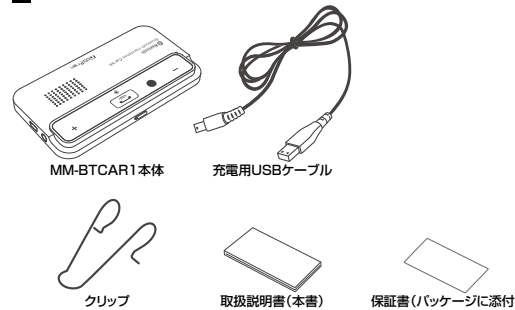
2.仕様

<本体仕様>	
通話可能時間	最大約28時間
待ち受け時間	通常時:最大約1400時間(58日) スリープ時(運転者を感じていない場合):最大約2年
バッテリー・充電時間	内蔵型リチウムポリマーバッテリー:最大2.5時間
センサー感知範囲	角度:80°/距離:1m
スピーカー出力	3W(最大)
使用温度範囲/保管温度範囲	-10℃~50℃/-20℃~60℃
サイズ / 重量	W118×D62×H9.9mm/約72g

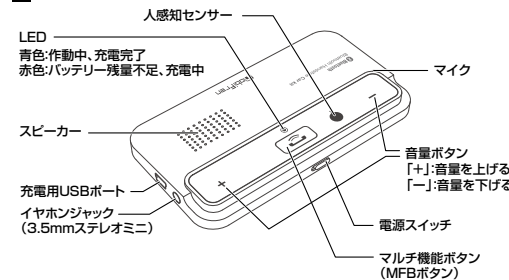
<Bluetooth仕様>	
適合規格	Bluetooth Ver.2.1+EDR準拠
周波数範囲	2.4GHz~2.48GHz
送信出力	Class2
対応プロファイル	HFP(ハンズフリー)、HSP(ヘッドセット)
通信距離	最大10m(使用環境によって異なります)

※使用時間、センサー感知範囲、通信距離などは使用機器や使用環境により異なります。
<対応機種>
Bluetooth対応のスマートフォン・携帯電話
※HFP/HSP(ハンズフリー通話機能)に対応していること。

3.セット内容

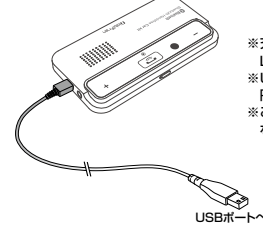


4.各部の名称と働き



5.本製品の充電

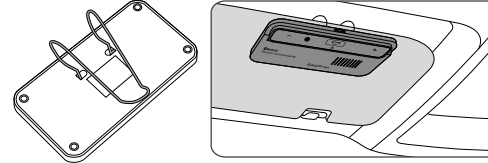
付属の充電用USBケーブルで、パソコン本体のUSBポートに接続します。



- ※充電中は赤のLEDが、充電が終わると青のLEDが点灯します。
- ※USBハブを利用する場合は、低電流のため円滑な充電ができない場合もあります。
- ※ご購入後、初めて使用する場合は/バッテリーをフル充電してからご利用ください。

6.取付け方法

本体にクリップを取付け、車のサンバイザーに装着してください。

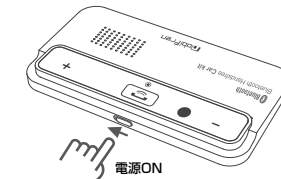


- 注意** 直射日光の当たる所や炎天下の車内など、高温になる場所には放置しないでください。

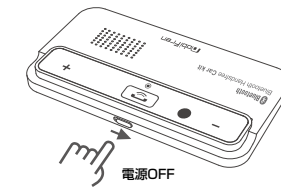
- ※人感知センサーがうまく動作できそうな位置に取付けてください。センサーは角度80°、距離1mの動きを感知します。運転者の動きがない場合や車から降りた場合は約3分後、自動的にスリープモードに入り、Bluetooth機器との接続も遮断します。再度動きを感じると自動的に接続されます。
- ※日光を遮断するためサンバイザーを使用する時は、本製品を外取してください。
- ※車種によって感知性能が異なる場合がありますが、できるだけサンバイザーの中央部分に取付けてください。

7.電源のON・OFF

電源スイッチをスライドすると電源のON/OFFができます。



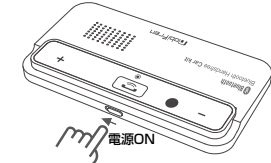
- ※ご購入後、初めて電源を入れると青のLEDが点灯し、ペアリングモードとなります。
- ※電源ON時に人感知センサーが動きを感知すると自動的に作動を開始します。
- ※動きを感知しなくなると、3分後自動的にスリープモードへと切替わります。
- ※通話中、人感知センサーは作動しません。



- ※長時間使用しない場合は、電源スイッチをOFFにしてください。

8.ペアリング

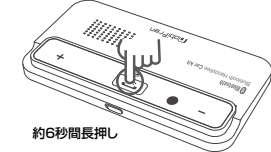
●ご購入後、最初のペアリング



- ①電源を入れると青のLEDが点灯し、ペアリングモードに入ります。
- ②携帯電話から、それぞれのペアリング操作を行い、本製品を登録してください。
※ペアリング操作は各携帯電話の取扱説明書をご参照ください。(下記にペアリング方法の一例を記載しています)
- ※3分間以内にペアリングが行われないと、ペアリングモードは解除されます。

デバイス名	MM-BTCAR1
パスキー	0000(ゼロ4つ)

●通常のペアリング



- ①電源ONの状態で、「MFBボタン」を約6秒間長押しすると、青のLEDが点灯し、ペアリングモードに入ります。
- ②携帯電話から、それぞれのペアリング操作を行い、本製品を登録してください。
※ペアリング操作は各携帯電話の取扱説明書をご参照ください。(下記にペアリングの一例を記載しています)
- ※3分間以内にペアリングが行われないと、ペアリングモードは解除されます。

デバイス名	MM-BTCAR1
パスキー	0000(ゼロ4つ)

例1) 携帯電話との接続方法

- ※事前に本製品をペアリングモード(LED:青色点灯)にしてください。
- ①携帯電話のBluetooth機能を選択します。
- ②周辺のBluetooth機器を検索します。
- ③「MM-BTCAR1」を選択します。
- ④パスキー(0000)を入力します。
- ※パスキーを求められない場合もあります。
- ⑤接続開始します。本製品のLEDが青色に5回点滅します。
- ⑥認識されると、接続完了です。本製品のLEDは3秒ごとに点滅します。
- ※接続するサービスが聞かれた場合は「ハンズフリー(HFP)」を選択してください。

例2) iPhone 4Sとの接続方法

- ※事前に本製品をペアリングモード(LED:青色点灯)にしてください。
- ①iPhone 4Sの「設定」→「一般」→「Bluetooth」をONにします。
- ②「MM-BTCAR1」を選択します。
- ③本製品の青LEDが点滅すれば接続完了です。

マルチポイント

本製品は2台の携帯電話で同時受けができるマルチポイント対応です。

<2台の携帯電話を接続する場合>

- ①上記「ご購入後、最初のペアリング」または「通常のペアリング」を参照し、1台目の携帯電話とペアリング接続した後、本製品の電源を一旦切ります。
- ②再び本製品の電源を入れ、1台目と同様に2台目の携帯電話とペアリング接続を行ってください。
- ③再度本製品の電源を切り、もう一度電源を入れ直すと、2台の携帯電話と接続ができ、同時受けが可能になります。

機器との接続

本製品の電源を入れると、最後に接続していた機器と自動的に接続します。スリープモードから復帰した場合も同様に、最後に接続していた機器と自動的に接続します。
※しばらくしても、自動的に接続されない場合は、「MFBボタン」を軽く押すと、機器側から接続操作を行ってください。

- 注意** 接続された状態で「MFBボタン」を押すとリダイヤルされます。ご注意ください。

9.使用方法

- ※事前にペアリング-接続を完了させてください。
- ※機種により、下記の一部の機能を使えない場合もあります。
- ※携帯電話からの操作については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

●電話に出る

- 着信中、「MFBボタン」を押します。
- ※携帯電話に着信があると、スピーカーから呼び音が鳴ります。
- ※携帯電話からも着信音を鳴らしたい場合はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

●通話中にもう1台の電話に出る(同時待ち受け時)

- 通話中の電話を保留にする場合
呼出中、「MFBボタン」を長押しし、ピープ音が聞こえたら離します。再度長押しすると元の電話に戻ります。
- 通話中の電話を切る場合
呼出中、「MFBボタン」を短く押します。

●電話を切る

- 通話中、「MFBボタン」を押します。

●電話をかける

- 携帯電話から電話をかけると、自動的に本製品に切替わるものもあります。
- ※機種や設定によって自動的に切替わらない場合があります。その場合は、Bluetooth機器を優先するように設定を変更するか、通話開始後に携帯電話側で切替えてください。または通話開始後に「MFBボタン」もしくは「音量ボタン」を押すと切替わります。(この場合、時間がかかる場合があります)

●着信拒否

- 着信中、「MFBボタン」を長押しし、ピープ音が鳴ったらはなします。
- ※音声メッセージが流れるか、留守番サービスへ転送されます。

●通話の切替え(携帯電話 ↔ 本製品)

- 通話中、携帯電話側で切替えてください。
<Bluetooth通話切替え方法(通話中携帯電話側から)>
docomo …… 通話中に、「受話器上げボタン」を1秒以上押す。(P-01A取説より)
- SoftBank …「メールボタン」(通話中メニューボタン)→「音声切替え」選択→「本体/Bluetooth」選択(912SH取説より)
- au …………… 通話中に「E」ボタンを押すと、本体とヘッドセットの切替えができます。(WG3SA取説より)

●音声ダイヤル機能

- 「MFBボタン」を長押しし、ピープ音が鳴ったらはなして、音声ダイヤルを行ってください。
- ※音声ダイヤル機能をサポートしている携帯電話のみ使用可能です。

●リダイヤル

- 「MFBボタン」を押すと、最後に発信した番号に発信します。

●音量調節

- 「音量ボタン」でスピーカーの音量を調節できます。

●マイク消音

- 通話中、「音量ボタン」(+または-)を約1秒間長押しします。
- ※もう一度「音量ボタン」(+または-)を約1秒間長押しすると解除されます。
- ※マイク消音中は5秒ごとにピープ音が鳴ります。

●LED表示のON・OFF

- 音量ボタンの「+」と「-」を同時に約1秒間長押しします。
- ※LEDがOFFの状態でも、着信中、電源のON/OFFなどの時にはLEDは点灯します。
- ※電源をOFFにすると、自動的に解除されます。

●初期化(工場出荷時の状態に戻す)

- 電源をONにして、音量ボタン「+」→音量ボタン「-」→音量ボタン「+」→音量ボタン「-」→「MFBボタン」の順でボタンを押すと、本製品が再起動され、赤と青のLEDが同時に点灯します。電源をOFFにすれば初期化は完了です。

10.LED表示について

通話中	8秒ごとに青色のLEDが点滅
待ち受け/待機中	3秒ごとに青色のLEDが点滅
バッテリー残量低下	赤色のLEDが点滅
充電中	赤色のLEDが点灯
充電完了	青色のLEDが点灯
ペアリングモード	青色のLEDが点灯

11.よくある質問

Q. スピーカーから音がでない。

- A. 本製品の音量を調節してください。

Q. ペアリングや接続ができません。または、突然ペアリングや接続ができなくなった。

- A. 本製品と接続機器の電源を両方とも一度切ってから再度作業を行ってください。

Q. スピーカーからノイズが聞こえる。

- A. 接続機器との通信範囲を超えたり、壁や人間の身体(接触した状態)などを挟むと雑音が入ります。

Q. どんな機器と接続できますか？

- A. Bluetooth Ver.4.0/3.0/2.1/2.0/1.2に適合し、HFPまたはHSP(ハンズフリー通話機能)のプロファイルに対応した携帯電話やスマートフォンと接続できます。

Q. 他のBluetooth使用者によって通信内容を傍受されますか？

- A. いいえ。ペアリングによって通信が保護されます。

Q. 使うたびにペアリング作業をする必要がありますか？

- A. いいえ。基本的には初回だけです。電源を切っても、ペアリングの設定は残りますが、機器によっては再度ペアリングを行ってください。

Q. 本製品と携帯電話の接続が途切れたら、再接続する必要がありますか？

- A. 携帯電話の機種によって異なります。自動的に再接続する機種と、そうでない機種があります。

12.使用上のご注意

- 長時間使用しない場合は、電源をOFFにしてください。
- 本製品を高湿または低温となる場所、湿度の高い場所、ほこりの多い場所で使用・保管しないでください。
- 高温や低温での長時間の保管は製品の誤動作や性能低下の原因となり、バッテリー寿命が短くなる場合があります。
- 本製品を水中や水のかかる場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造しないでください。
- USB-ACアダプタで充電する場合は、必ず5V/1Aまたは5V/500mA仕様のものをご使用ください。

13.安全にご使用いただくために

- 運転者は走行中に絶対に操作しないでください。交通事故の原因になります。
- 使用する前に音量を最小にしてください。突然大きな音がすると、聴力を損なう恐れがあります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 内部に燃えやすいものや水などの液体がかかった場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店または弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと、火災や故障および感電事故の原因になります。
- 内部を開けると、故障や感電事故の原因になります。内部には絶対に触れないでください。また、内部を改造した場合の性能劣化については保証いたしません。
- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。
- 小さいお子様には使用させないでください。

14.ご注意

- 本製品を使用したことによって生じた障害や損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて障害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では使用しないでください。
- 高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
- 飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
- 必要以上に長時間の充電はしないでください。
- 電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は使用状況によって異なりますが、約300~400回繰り返し充電できます。十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご使用にいただけない場合は、電池の寿命です。弊社では電池の交換を行っておりませんので、新しい製品をお買い求めください。
- 電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
- 充電が終わったら必ずケーブルをを外してください。また、十分な充電時間を過ぎてても充電が完了しない場合は充電を終えてください。所定の充電時間を超過して充電した場合、電池が発熱・発火する危険性があります。
- 本製品を使用中に発生したデータの消失、機器の故障などの保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Bluetoothについて

- 本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発射を停止してください。

■ 良好な通信を行うために

- 他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能場合があります。
- Bluetooth対応のヘッドホン/ヘッドセット/スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声が途切れることがあります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

15.保証規定

- 保証期間内に正常な使用方法でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは手字を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組みみや使用は意図されておられません。これらの用途に本製品を使用すれば、人身事故、社会的障害などが発生しても弊社にはいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品をご送付の際はご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書ラベル貼付欄

※保証書ラベルを貼付し大切に保管してください。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- よくある質問(Q&A)
- ドライバのダウンロード
- 各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから



各情報ページを直接ご覧いただくこともできます。

ご質問、ご不明な点などが
ありましたら、ぜひ一度
弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

2012.4現在

本社/サンライズセンター 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL:086-223-3311 FAX:086-223-5123
横浜/サンライズセンター 〒140-8586 東京都品川区南大井6-5-5 TEL:03-5763-0011 FAX:03-5763-0033
札幌/東区南10丁目1番10号 TEL:011-838-5850 FAX:011-716-8980
仙台/宮城野区南1-6-3 宮城仙台ビル TEL:022-237-4538 FAX:022-237-4533
名古屋/東区栄1番15号 日産ビル TEL:052-463-2031 FAX:052-463-2033
大阪/東区南船場1-4番 船場ビル TEL:06-6595-2310 FAX:06-6595-2312
福岡/東区南1-12-2 福岡市東区博多駅前2-20番 博多駅前ビル TEL:092-471-6721 FAX:092-471-8076

12/04/TDRK